

個人投資家さま向け 会社説明資料



青ノ山から見た瀬戸大橋（宇多津町）

2020年8月

 百十四銀行

（東証一部：証券コード8386）

- I. 百十四銀行について**
- II. 決算ハイライト**
- III. 百十四銀行の成長戦略**
- IV. 株主さまへの還元**



I. 百十四銀行について



百十四銀行のプロフィール

- 当行は1878年に創業し、資金量は地方銀行64行中、約30位に位置しています。
- 百十四グループ全体で、地域に根ざした総合金融サービスを提供しています。

会社概要

2020年3月末現在

百十四グループ

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1
創業	1878年11月1日
総資産	4兆9,348億円
総預金	4兆1,683億円（譲渡性預金含む）
貸出金	2兆8,553億円
資本金	373億円
発行済株式総数	30,000千株
従業員数	2,157人
店舗数	125店舗（店舗内店舗・クイックスクエア含む） 海外駐在員事務所2（上海・シンガポール）

百十四銀行

百十四財田代理店(株)

百十四リース(株)

日本橋不動産(株)

百十四ビジネスサービス(株)

(株)百十四人材センター

(株)百十四システムサービス

(株)百十四ジェーシービーカード

(株)百十四ディーシーカード

百十四総合保証(株)



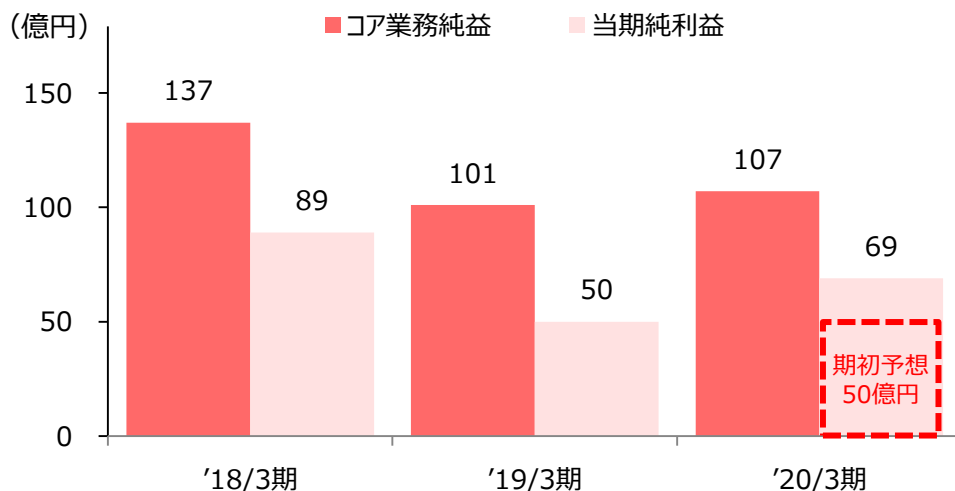
Ⅱ. 決算ハイライト



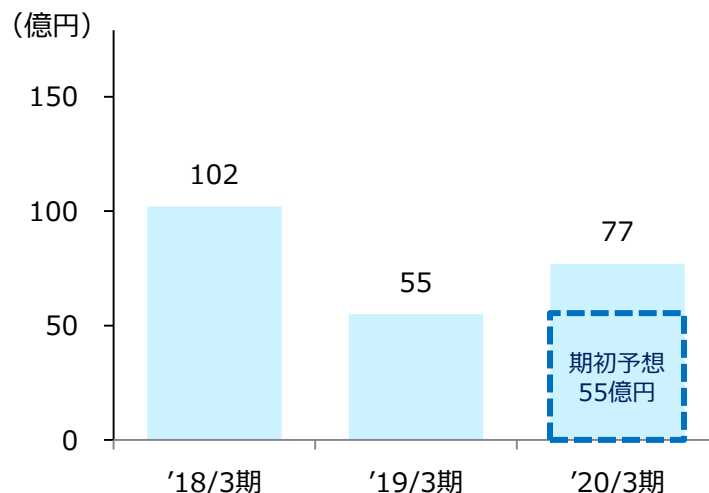
2019年度決算の状況

- 2019年度決算は、本業のもうけを示すコア業務純益が前期比6億円の増益となりました。
- また、当期純利益は、連結・単体とも期初の業績予想を上回って推移し、前年度と比較して増益となりました。

単体 コア業務純益・当期純利益



連結 親会社株主に帰属する当期純利益



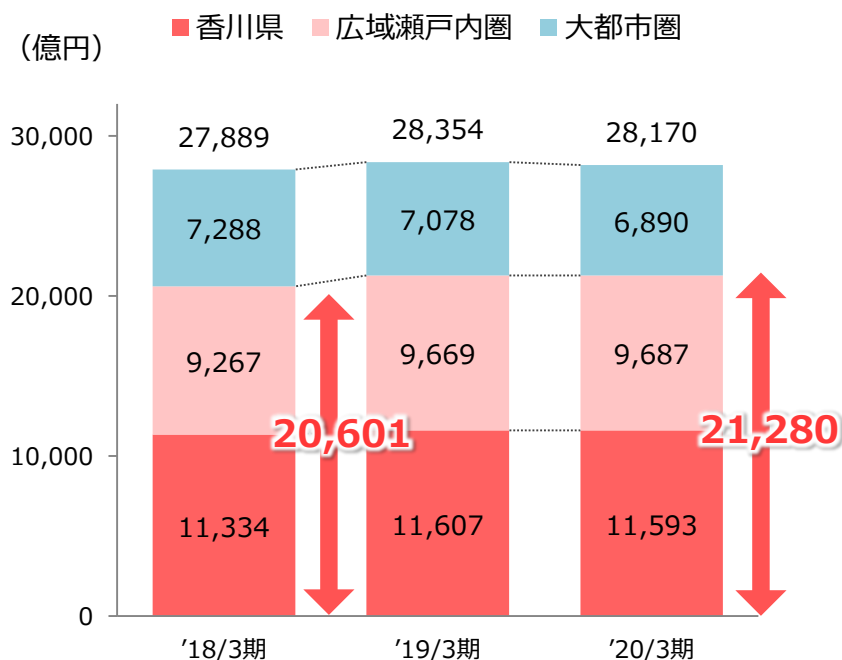
〔用語解説〕 コア業務純益

- 本業のもうけを示す業務純益から一時的な変動要因（国債の売買による利益等）を除いたものです。
- 預金や貸出金、為替業務、預り資産業務といった銀行の本来業務による収益力を表す指標とされています。

貸出金の状況

- 貸出金は採算性の低い大都市圏を抑制したことで全体では減少しましたが、地元地域である香川県・広域瀬戸内圏では増加傾向にあります。

地域別の期中平均残高



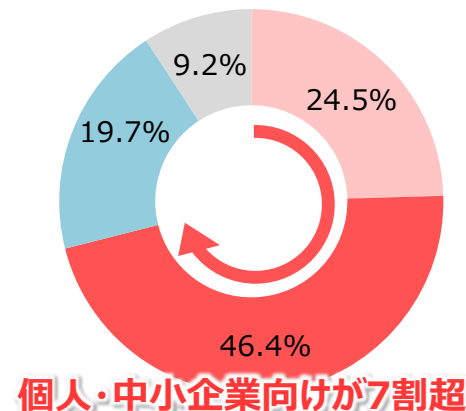
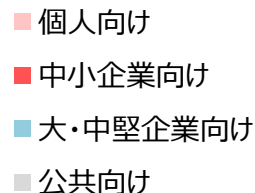
地元地域の貸出金残高が増加しています！

※ 大都市圏 [東京都、愛知県、大阪府]

※ 広域瀬戸内圏 [香川県を除く四国3県、岡山県、兵庫県、広島県、福岡県]

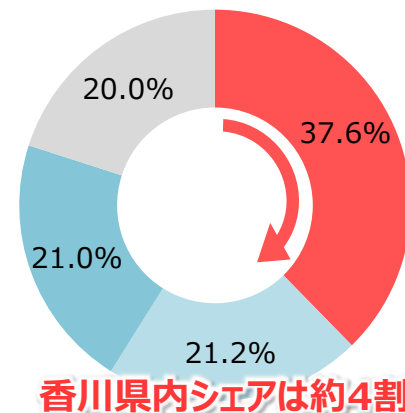
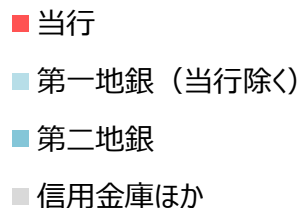
顧客別の貸出金シェア

(2019年度期中平均残高ベース)



業態別の香川県内シェア

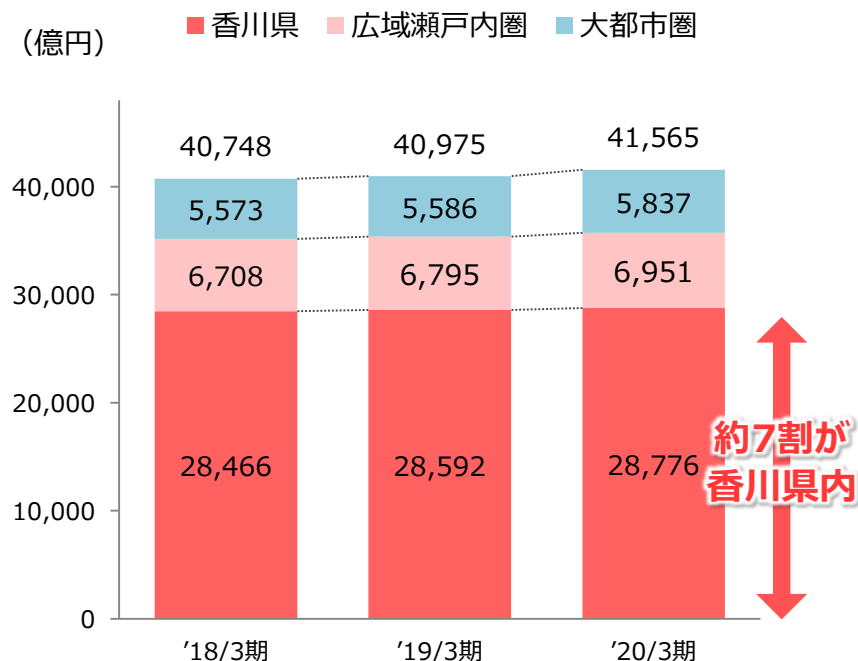
(2020年3月末時点)



預金の状況

- 預金は全体の7割を占める香川県内を中心として、全地域で増加しています。

地域別の期中平均残高



預金の約7割は香川県内が占めています！

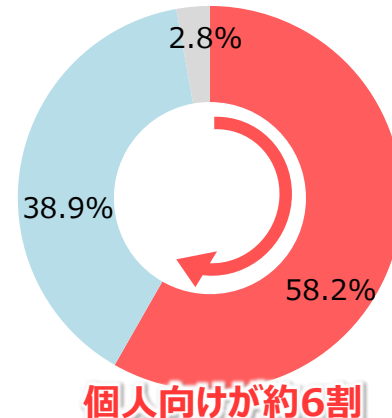
※ 大都市圏 [東京都、愛知県、大阪府]

※ 広域瀬戸内圏 [香川県を除く四国3県、岡山県、兵庫県、広島県、福岡県]

顧客別の預金シェア

(2019年度期中平均残高ベース)

- 個人向け
- 企業向け
- 公共向け

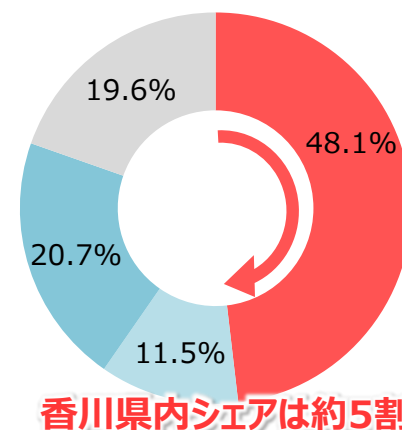


個人向けが約6割

業態別の香川県内シェア

(2020年3月末時点)

- 当行
- 第一地銀 (当行除く)
- 第二地銀
- 信用金庫ほか



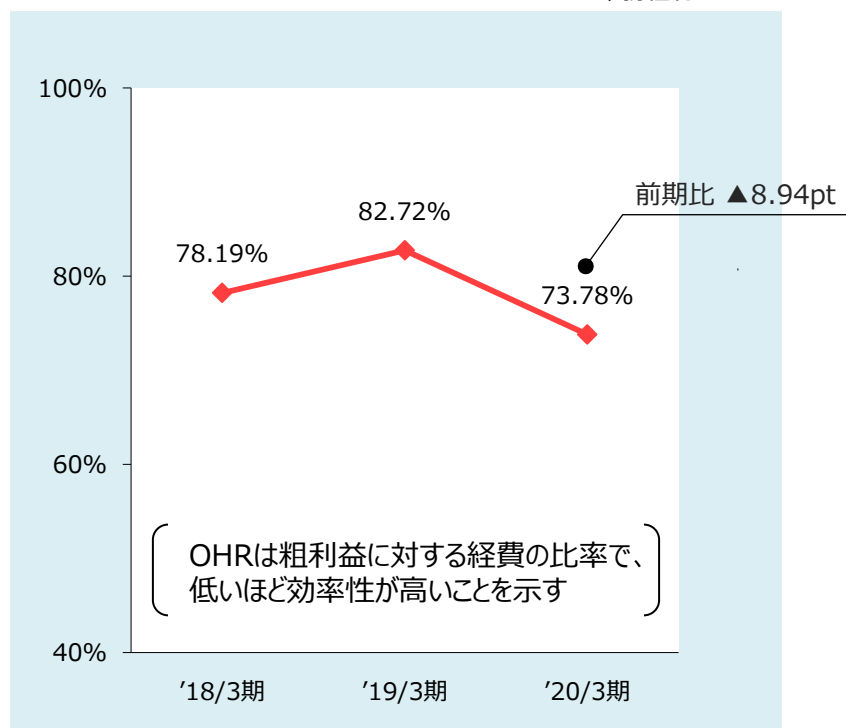
香川県内シェアは約5割

経費率・自己資本比率の状況

- 経費率は経費削減等の効果により前期比低下し、経営の効率性が改善しています。
- 当行の自己資本比率は、国内基準行に求められる水準を十分に上回って推移しております。

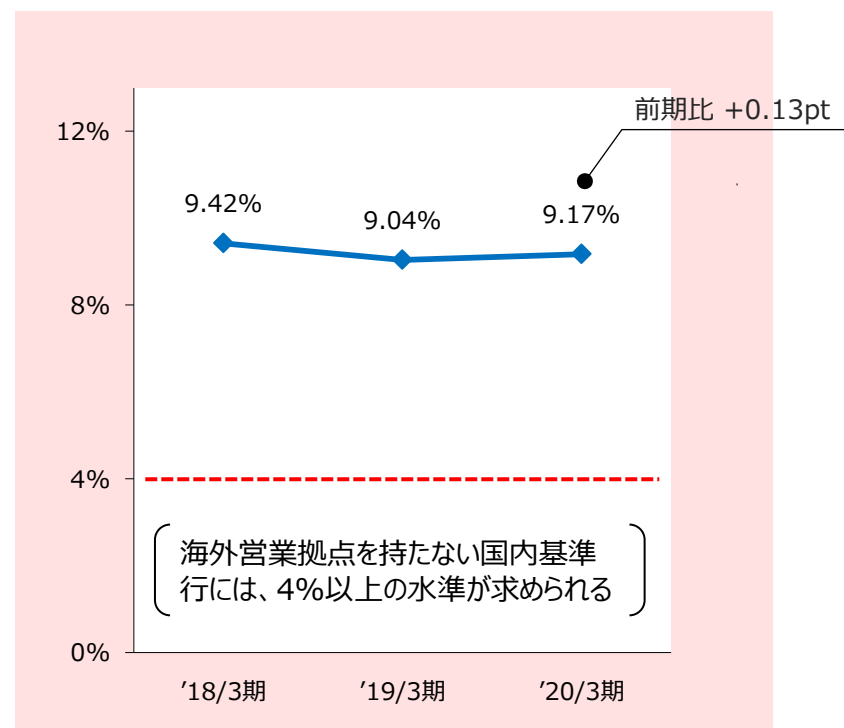
単体経費率 (OHR※) の推移

※業務粗利益ベース



経費抑制により経営の効率性が改善！

連結自己資本比率の状況 (国内基準)



求められる水準以上の健全性を確保！



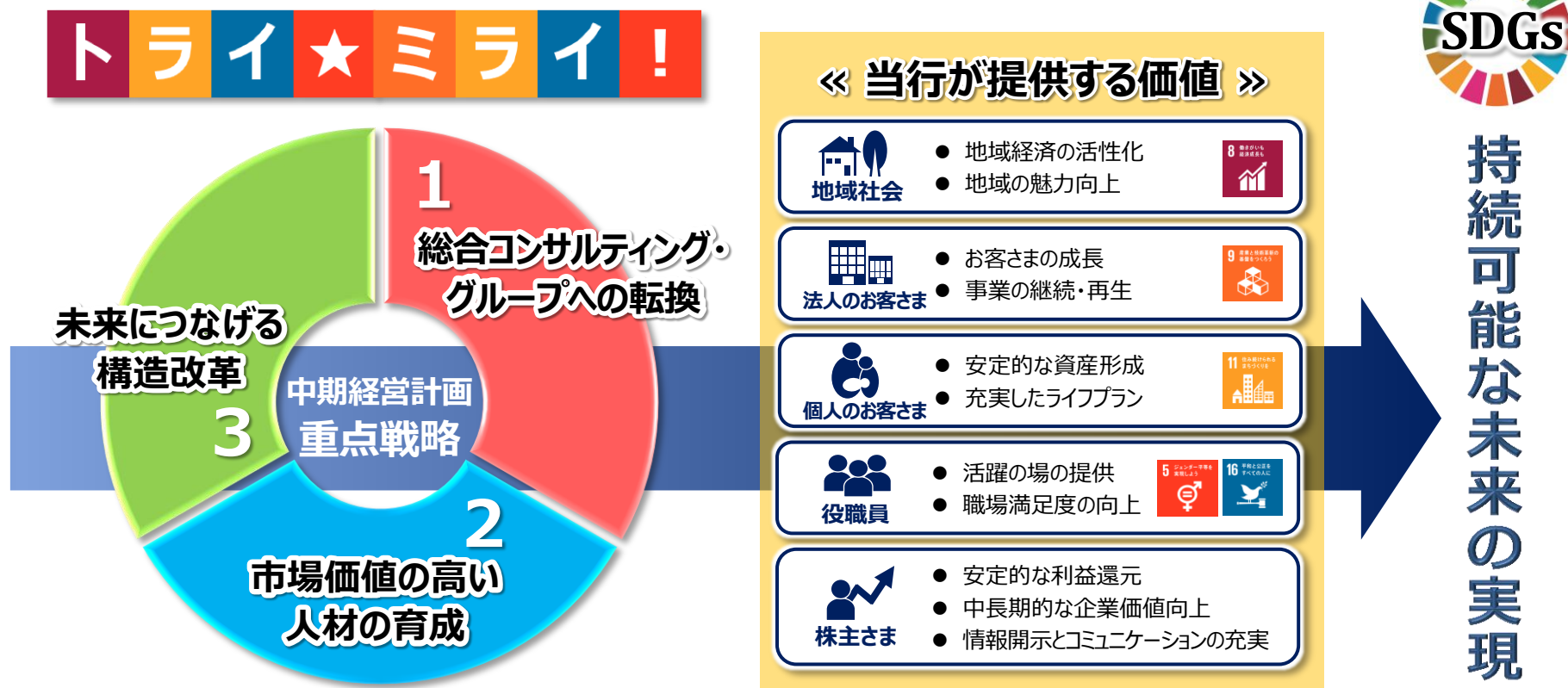
Ⅲ. 百十四銀行の成長戦略



新中期経営計画の策定

- 新中期経営計画では、お客さま・地域の未来を共創する総合コンサルティング・グループへの転換を図るとともに、戦略遂行を通じてSDGs達成に貢献してまいります。

□ 新中期経営計画（2020年4月－2023年3月）



お客さま・地域の未来を共創する「総合コンサルティング・グループ」をめざします！

法人のお客さまへのコンサルティング提供体制

- 専門人材の配置により、お客さまとの対話力を強化していく方針です。
- 同時に、コンサルティングが可能な分野を拡充することで、課題解決力を強化してまいります。

対話力の強化

□ 法人ソリューション・アドバイザーの配置

10名
程度

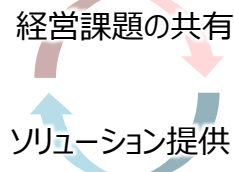


- ソリューション営業を専門に行う職員を県内主要拠点に配置
- 専門的な知識を活用し、お客さまとの深度ある対話につなげる

□ 事業性評価の深化

- 深度ある対話により、お客さまの経営課題を共有し、ソリューション提供へとつなげる「事業性評価」の取り組みをさらに高度化。

<事業性評価のイメージ>



課題解決力の強化

□ コンサルティング・メニューの充実

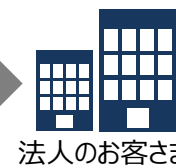
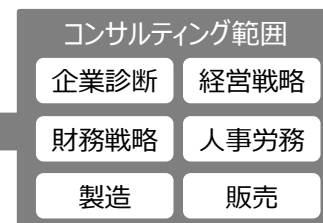
次頁
参照



- 外部専門家と連携し、提供可能なコンサルティング・メニューを拡充
- お客さまのニーズが高い分野については、可能なかぎり内製化を図る

□ 経営コンサルティング業務への参入

- コンサルティングの高度化を進めることで経営コンサルティング業務への参入を図り、将来的にコンサル子会社への発展をめざす。



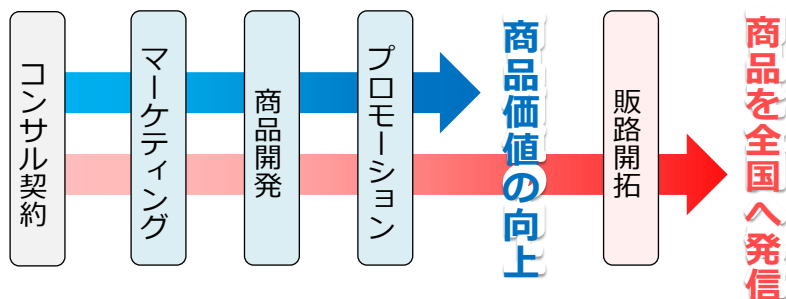
新分野への進出

- 当行は、四国アライアンス及びグループ会社と連携して、新たに2つの分野に進出しました。
- 今後も、金融の枠にとらわれない「新たな価値」を、お客さまに提供してまいります。

百十四銀行 × 地域商社

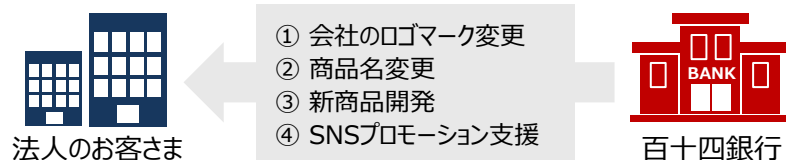
- 2020年4月、四国アライアンス4行の共同出資により、地域商社「Shikokuブランド株式会社」を設立。

〔地域商社事業のスキーム図〕



〔ブランディング先行事例〕

- 会社の知名度を向上したいというお客さまに多角的な提案を実施

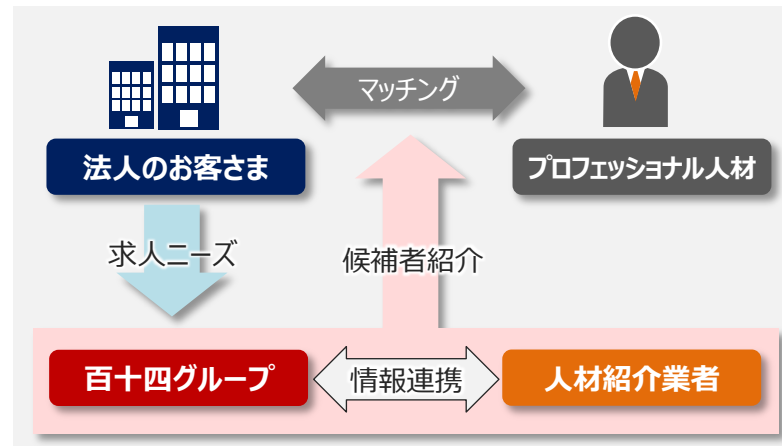


開発をサポートした新商品が県産品コンクールで受賞！

百十四銀行 × 人材紹介

- 2020年4月、当行のグループ会社(株)114人材センター等と協働して、人材紹介業に本格参入。

〔人材紹介業のスキーム図〕



香川県で初めて、「先導的人材マッチング事業※」の間接補助事業者に採択されました！

※ 内閣府が行う事業で、地域金融機関が、経営人材等のマッチングを支援することで地域の中堅・中小企業の成長・生産性向上の実現をめざすもの。

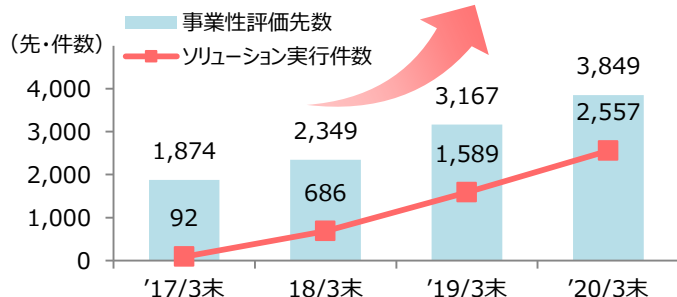
法人のお客さまへのソリューション提供①

- 当行では事業性評価に基づくコンサル営業の実践により、適切なソリューション提供に努めています。
- 新規創業先には、金融面にとどまらない支援により、起業家の皆さまをサポートしています。

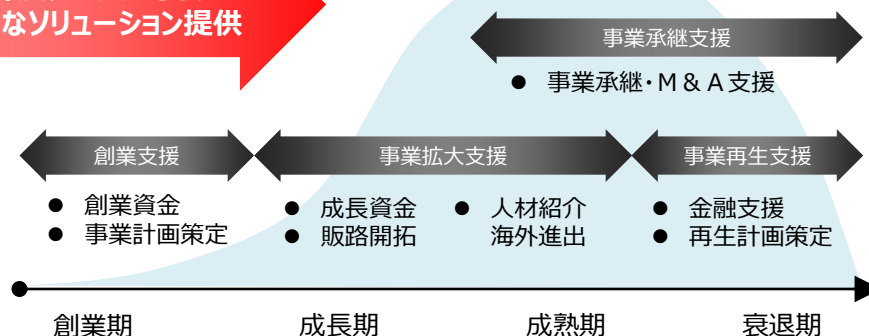
コンサル営業の実践

〔事業性評価の取り組み状況〕

- 事業性評価の取り組みを通じて、お客さまの経営課題を起点としたソリューション提供を実践。



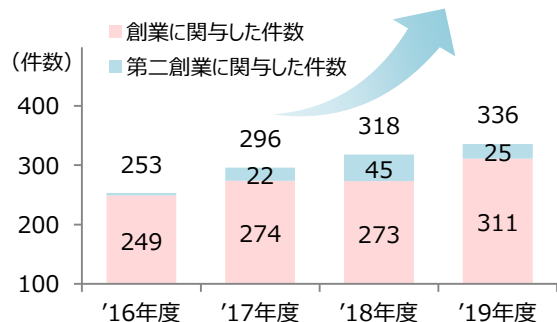
事業ステージに応じた適切なソリューション提供



創業支援

〔新規創業支援の実績推移〕

- 創業融資や事業計画策定等を通じて新規創業企業を支援しています。



たかまつ創業サポートセンターと連携

- 高松市が開設する「たかまつ創業サポートセンター」にて創業個別相談を開始。



四国アライアンスビジネスプランコンテスト

- 四国4行の共同にて、新規創業企業向けのビジネスプランコンテストを開催。



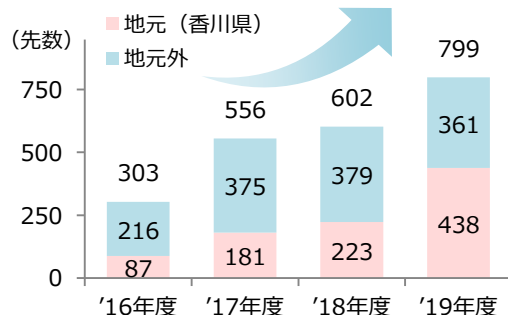
法人のお客さまへのソリューション提供②

- 成長期のお客さまには、販路開拓や資金調達手段の多様化等により事業拡大をご支援しています。
- 後継者不在等に悩むお客さまには、M&Aをはじめとする事業承継をご支援しています。

事業拡大支援

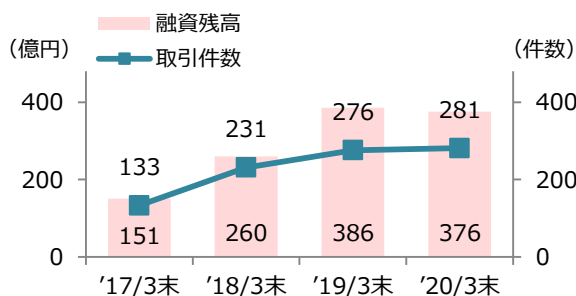
〔販路開拓支援の実績推移〕

- お客さまの事業拡大につながる販路開拓支援に積極的に取り組んでいます。



〔アセットファイナンス※の推移〕

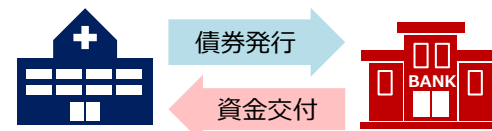
- 資金調達を多様化する手段の一つとしてアセットファイナンスの取引件数が増加しています。



※ 在庫や売掛金など流動資産に着目した融資スキーム

医療機関債

- 医療機関の新たな資金調達手段として医療機関債※の取り扱いを開始。

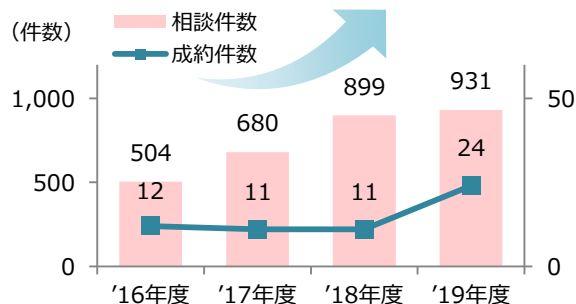


※ 厚生労働省のガイドラインが示した基準を満たす、財務内容良好な医療法人が発行できる証拠証券（借入金）

事業承継支援

〔M&A支援の実績推移〕

- M&A（企業の合併・買収）は相談件数が着実に増加し、成約にもつながっています。



インクグロウ株式会社との業務提携

- 同社が運営するM&Aマッチングサイトの活用によりマッチング能力を強化。

同社のマッチングサイト



全国の提携金融機関ネットワークを活用

Chance地銀共同化行との連携

- Chance共同化行と協働で『M&A業務広域プラットフォーム』を構築。

Chance共同化行



広域でのマッチング強化によりM & A 業務を高度化

個人のお客さまへのコンサルティング提供体制

- お客さまのライフプランに応じた適切なソリューションを提供するため、営業店と本部が協働して、より質の高いコンサルティング提供に努めてまいります。

□ 質の高いコンサルティング提供に向けた営業体制

営業店の体制

ライフプラン・アドバイザー (LPA)



- 個人のお客さまのライフプランに応じたソリューション提供を行う営業店職員
- 預り資産業務とローン業務を ワンストップ に対応可能

ライフプラン・コンサルタント (LPC)



- 預り資産営業の専門的な知識を持った本部職員を主要な営業拠点に配置
- 営業店職員を支援することで質の高いソリューション提供を実現

本部応援体制

プライベートバンキング・チーム の設置



検討中

- 資産活用・承継業務に関して高度な提案を行う専門チームを本部に設置
- 個別のお客さまに最適な オーダーメイド型商品の提案をめざす



若年層

資産形成層

資産活用・承継層

個人のお客さま

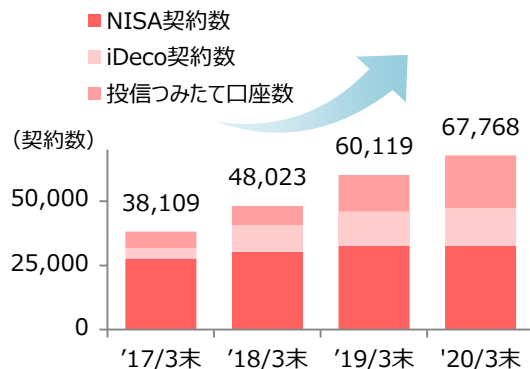
ライフプランに応じた質の高いコンサルティング提供に努めます！

個人のお客さまへのソリューション提供

- 現役世代のお客さまには、長期積立型商品の提案等により安定した資産形成をご支援しています。
- リタイア世代のお客さまには、ニーズに応じた金融商品提案により資産活用・承継をご支援しています。

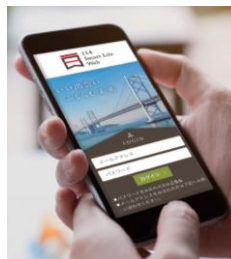
資産形成支援

〔資産形成商品の契約実績〕



「114Smart Life Web」の開設

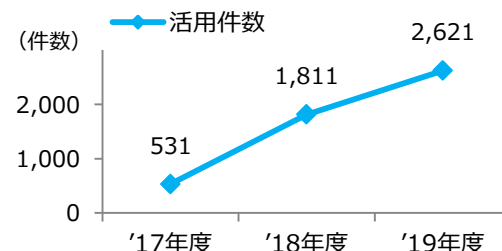
- お取引先の従業員さま向けの会員制webサイトを開設。



ダイレクトバンキング利用
ローン申込み
WEB相談
資産運用情報の発信
資産形成シミュレーション

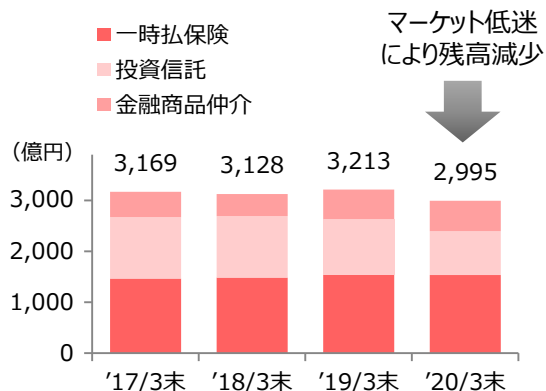
ライフプランニングサービスの活用

- お客さまの資産設計を基に、家計収支と将来の貯蓄残高をシミュレーション。



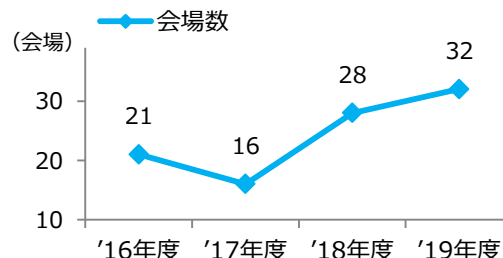
資産活用・承継支援

〔預り資産の残高推移〕



お客さまセミナーの開催

- 資産活用層のニーズ喚起等を目的としたお客さまセミナーを開催。



遺言代用信託「つなぐミライ」

- 遺言の代用として、指定された方にスムーズに財産を引き継ぐことができる信託商品の代理店業務を開始。



店舗戦略

- 当行では、店舗を「事務手続きの場」から「コンサルティングの場」へと転換していく方針です。
- また、店舗数の適正化を図りつつ、お客さまの利便性に配慮した店舗網を再構築してまいります。

コンサルティングの場への転換

□ 当行がめざす店舗の在り方

- 総合コンサルティング・グループの転換に向けて、店舗の在り方を見直していく方針。

これまでの店舗像

単なる
事務手続きの場



めざすべき店舗像

気軽に相談できる
コンサルティングの場

□ 高機能型店舗の設置

- 地域の中核店舗を、高いコンサルティング機能を持つ高機能店舗へと転換し、コンサルティング提供の拠点とする。



店舗数の適正化と利便性維持

□ 県内営業店の統廃合計画

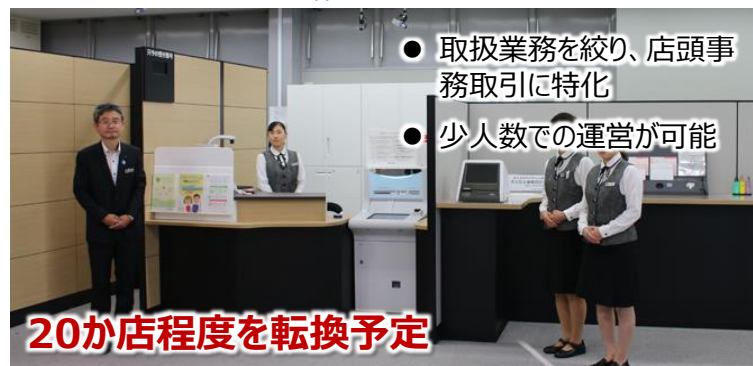
- 店舗統廃合により、店舗数の適正化を図っていく方針。

※統廃合数は店舗軽量化によるものを除く

削減方針公表	前中計期間	新中計期間
県内営業店の 2割 を 5～10年以内に削減	7カ店 の統廃合実施	約13カ店 を統廃合予定 (2割削減の達成)
'17/4	'20/3	'23/3
前中期経営計画		新中期経営計画

□ 軽量型店舗 (クイックスクエア) の設置

- 一部店舗は軽量型店舗 (クイックスクエア) として存続させることで、お客さまの利便性に配慮した店舗網の維持をめざす。



高機能型店舗の店舗空間（イメージ）

- 2020年10月、高機能型店舗の第一号店として新・香西支店が新築オープンする予定です。
- 新・香西支店は、これまでの銀行店舗とイメージを大きく変え、気軽に立ち寄れる快適な店舗空間をめざしています。



ファーストコンタクトカウンター

- 店舗入り口に「コンシェルジュ」を配置し、お客さまのご要望に応じた相談スペースへご案内します。



コンサルティングブース

- プライバシーに配慮した個室型のコンサルティングブースをご用意しています。



ロビーラウンジ

- 明るく開放的な空間により、気軽に立ち寄れる店舗像を実現します。

非対面チャネルの強化

- スマートフォンアプリの機能充実により、お客さまの利便性向上を図ってまいります。
- 2020年8月末には、新たにスマートフォン上で銀行の諸手続きが可能となるアプリを導入予定です。

百十四銀行アプリの機能拡充

- 当行のポータルアプリ「百十四銀行アプリ」の機能拡充により、スマートフォンで利用可能な銀行取引の幅を拡大していく方針。



インターネットバンキング機能

スマート通帳機能

個人ローン申込み

資産運用シミュレーション

ライフプランシミュレーション

インターネット保険



デジタル手続き機能

114デジタル手続きアプリの導入

- これまで店頭へのご来店をお願いしていた各種手続きをスマートフォン上で可能とすることで、お客さまの利便性を大幅に向上。



地方銀行初の諸手続き専用スマホアプリ

磁気不良等で利用できないキャッシュカードの再発行

当行にお届けの住所・電話番号の変更

紛失した通帳・キャッシュカードの利用停止と再発行のお申込み

ポータルアプリを軸に、さらに機能を拡充！

その他の諸届機能も順次追加していく方針！

新型コロナウイルス感染症への対応

- 金融面でのご支援はもちろんのこと、事業継続や生活様式の変更といったお客さまの抱える様々な課題解決に向けて、全力で取り組んでまいります。



流行初期

流行拡大期

ウィズコロナ



法人のお客さま



個人のお客さま

資金繰りの不安

- 事態の長期化に備えて新たに借入したい
- 急速な業績悪化により借入金の返済が困難

ローン返済の不安

- 給与の減少によりローンの返済が困難
- 平日は仕事があり、銀行へ相談に行けない

お客さまの抱える課題が徐々に変化



法人のお客さま



個人のお客さま

事業継続の不安

- 新しい生活様式に合わせて事業を見直したい
- 消費低迷により地域経済が停滞している

新しい生活様式への対応

- 銀行への訪問回数を減らしたい
- スマホアプリの取引の幅を広げてほしい

金融面の相談に対する対応方針

迅速

柔軟

負担
軽減

- 休日相談窓口を設置し、お客さまからの申し出には迅速かつ柔軟に対応
- 条件変更申込み時の手数料無料化やご提出資料の簡素化など、お客さまの負担にも配慮

ウィズコロナ下のお客さまへの対応方針

本業
支援

地域
応援

3密
回避

- 総合コンサルティング・グループとして事業者さまの本業支援と地域経済の回復に全力で取り組む
- 新しい生活様式に対応するため、「3密」回避につながる銀行取引の浸透をめざす

👉 次ページにて、ウィズコロナに向けた新たな取り組みをご紹介します！

ウィズコロナに向けた新たな取り組み

- ウィズコロナの時代に向けて、当行が行っている「114てのひらプロジェクト」と「KAGAWAわっしょい!!キャンペーン」についてご紹介します。



- お客さまが「3密」回避に繋がる取引を利用された件数等に応じ、当行が新型コロナ対策資金を香川県へ寄付します。

感染拡大防止の推進



インターネットバンキング・スマホアプリの利用件数等をカウント

お客さまの「3密」回避に繋がるお取引の利用を後押し！

地域の医療体制支援



カウント数に応じ、当行負担により最大600万円を香川県に寄付

香川県への寄付を通じて、地域医療の体制整備を支援！



- 当行役職員の消費促進により地域の消費喚起を図るとともに、観光や飲食店等に関する地域情報をSNSで全国へ発信します。

役職員の消費促進

1. キャンペーン加盟店を利用
2. 会計時にスタンプカード提示
3. 利用額に応じてスタンプ押印
4. スタンプを集めた役職員には、当行より抽選で県産品贈呈

8月14日時点にて、約500店舗がキャンペーン加盟

当行役職員の消費促進により地域の消費喚起を図りたい！

SNSによる情報発信

【facebook】 【Instagram】



「#わっしょいキャンペーン」にて当行役職員がSNSに投稿

アフターコロナに向けて、地域の魅力溢れる店舗を全国へ発信！

ESGへの取り組み

- 事業活動を通じてESGに取り組むことで、持続可能な社会（SDGs）の実現に貢献してまいります。



社会

Social



金融教育活動の実施

- 金融リテラシー向上のため、幅広い年齢層を対象に金融教育活動を実施しております。



夏休み親子体験教室の様子



寄付・寄贈型私募債の取り扱い

- 発行手数料の一部で、学校や地方公共団体等に物品を寄贈する「百十四地域アシスト債」を取り扱っています。

引受累計額
(2016年度以降累計)

47件 **47億円**



SDGs応援私募債の取り扱い

- 2020年7月、SDGsに取り組むお客さまを応援するため「百十四SDGs債」の取り扱いを開始しました。

引受累計額
(2020年7月末時点)

3件 **4.5億円**



自治体との包括連携協定

- 香川県下全ての市・町と包括連携協定を締結し、地域の持続性向上に向けた連携を進めております。



三木町との締結式（'20/7）



環境

Environment



環境負荷の低減

- タブレット端末の導入等による紙使用量の削減をはじめとして、事業活動を通じて環境負荷の低減に努めています。



環境保全活動の促進

- 四国アライアンス4行と協働で、地域の森林保全に取り組むフォレストマッチング活動を行っております。



ガバナンス

Governance



ガバナンス態勢の強化

- ガバナンス態勢の強化を目的に、取締役会の構成を見直しております。

経営の透明性向上

多様な意見の反映

独立社外取締役
5 / 15名

女性取締役
2 / 15名



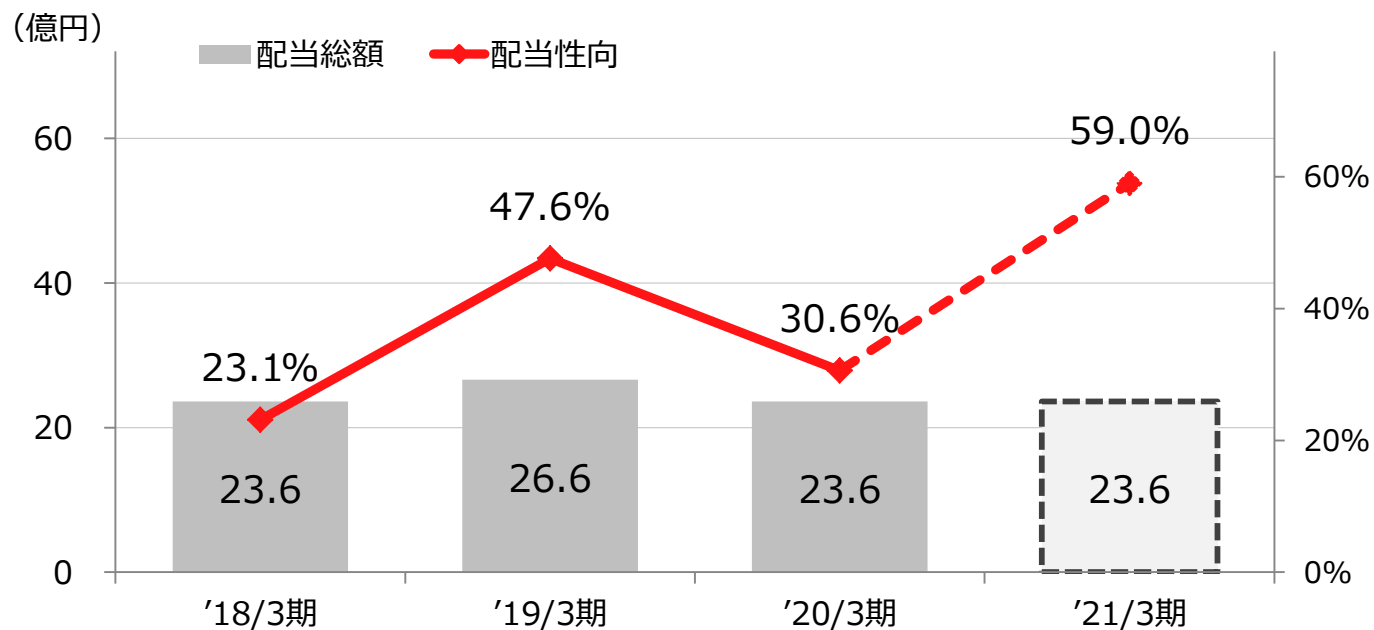
IV. 株主さまへの還元



株主還元

- 配当については、安定的な利益還元に配慮しつつ、内部留保の充実度合い、利益の状況及び経営環境等を総合的に考慮した上で実施します。
- 2021年3月期は、1株あたり年間80円の普通配当を継続する予定です。

(注) 配当金額はいずれも2018年10月の株式併合(10株を1株)を勘案後



1株あたり
年間配当額

80円

90円※

※記念配当10円を含む

80円

80円

(予定)

株主優待制度

- 株主還元の一環として、株主優待制度をご用意しております。
- 地元香川県の特産品等を掲載したカタログから、お好みの品物をお選びいただけます。

対象となる株主さま	毎年1回、3月末現在で100株以上ご所有の株主さま	
概要 (保有株数に応じて 専用カタログを送付)	保有株数100株以上500株未満	2,500円相当の香川県産品
	保有株数500株以上	5,000円相当の香川県産品

(2020年度の実施概要)



2020年度より、SDGsへの貢献を目的として、優待品の送付に替えて、地域活性化に向けた活動へ寄付を行う「寄付コース」を導入しました。

本説明資料に関するご照会先

本説明資料や I R 全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社百十四銀行 経営企画部 経営企画グループ

電 話 0 8 7 (8 3 6) 2 7 8 7

F A X 0 8 7 (8 3 6) 3 6 7 7

E - m a i l keiki.kikaku@114bank.co.jp

HPアドレス <https://www.114bank.co.jp/>

- ◆ 事前に百十四銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止いたします。
- ◆ 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- ◆ なお、本資料に含まれている将来の業績に係る記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績は経営環境の変化等の様々な要因により変動する可能性がありますことにご留意ください。